



お金の心配なく 看護師になりたい

アルバイトに追われず
学業に専念したい！



国は学費の無償化を



学生と家族に重くのしかかる高学費

「全日本民医連アンケート2023年」より 母数 1,065件

設問

海外では学費が無償の国もありますが、日本でも学費が無償になったら何がしたいですか？（複数回答）

回答

学習時間の確保	41.5%
家族の生活費の補填がしたい	40.7%
食生活の改善	23.4%
医療機関への受診	14.5%

「家族の生活費の補填がしたい」が40.7%と、学生と家族に学費が重くのしかかっています。

VOICE

お金がなくても学べるように、まずは授業料無償を強く希望します。



VOICE

学費が高くて、看護師を目指すことをあきらめた友人もいます。看護師の数を増やすために、学費の援助は、必要不可欠です。



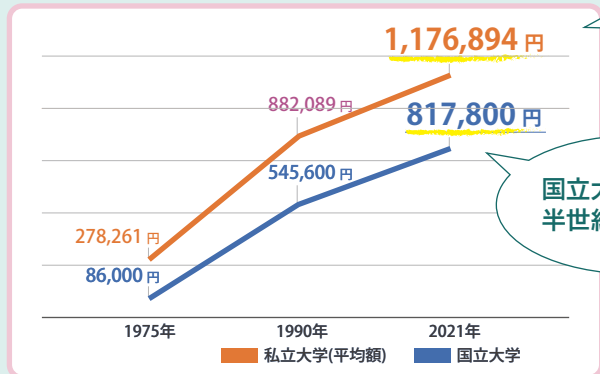
日本の学費は世界一高いとも言われます。日本も国際人権規約で定められた高等教育無償化へすすみましょう。



国立大学はおよそ半世紀で10倍近くも値上げ、私立大学は平均額で100万円を超えています
日本の高学費は支払い能力を超えています！

大学初年度納付金の推移

UP



私立大学
平均100万円超え！！

国立大学
半世紀で10倍！！

※文部科学省調査を元に、当会でグラフ化した。
※初年度納付金とは、初年度学費+入学金の合計（ちなみに入学金がある国は日本だけです）。

看護師増やして
ケア最優先の社会へ
あなたも
ナース☆アクション

国に求めます 看護師の養成・労働環境の改善・潜在看護師の復職支援



アンケート結果は
こちら

取扱い団体

全日本民主医療機関連合会
<https://kirarikango.com/>

高等教育無償化を求める請願

請願要旨

『食費を削って授業料に充てている』『奨学金の返済がとても不安』『学費が高過ぎて看護大学への入学を諦めた』『生活の為に長時間アルバイトをせざるを得ず学業に集中できない』『学業だけに専念できる環境を国が作ってほしい』など、当会が昨年行った「コロナ禍での全国看護学生アンケート調査」には、看護学生の過酷な実態と悲痛な声が多数寄せられました。日本は教育費への公的支出の割合が少ない一方で(OECD諸国最低水準)、学校関連にかかる費用(家計負担割合)は世界的に見て非常に高い水準にあります。

高等教育(大学・短大・専門学校)無償化の流れは、日本政府も批准している国際人権規約で定められた国際標準ですが、日本はこの半世紀の間に国立大学で言えば50倍にも学費を値上げしてきました。学費の値下げ、無償化は大きな家計支援策でもあり、少子化対策です。

コロナ禍で浮き彫りになったのは日本の看護体制の脆弱さでしたが、看護職の養成は、超高齢社会の中で益々求められおり、看護学生が経済的不安なく学び続けられる環境の整備は喫緊の課題です。

以下の事を強く要望します。

請願項目

1. 国際条約である「高等教育無償化」を速やかに履行すること
2. 給付型奨学金の拡充と要件緩和を行い、看護職を目指す全ての学生が利用できる制度にすること
3. 看護職養成校への国の補助金を充実させること

氏名	住所（「同上」や「〃」は使わないでください）
	都道 府県
	都道 府県
	都道 府県
	都道 府県
	都道 府県

【取り扱い団体】全日本民主医療機関連合会

連絡先：〒113-8465 東京都文京区湯島2-4-4 平和と労働センター7階
電話：03-5842-6451